

正々堂々と競います

5月21・22日に緑中学校体育大会、28日に宮ヶ瀬合同体育祭が開催されました。

緑中学校体育大会は雨天により一部競技が翌日に延期となり、2日間の開催でしたが、競技を終えた生徒たちの表情は充実感に満ちていました。

宮ヶ瀬合同体育祭は、3年ぶりの開催となりましたが、宮ヶ瀬小・中学生や地域住民など、約80名が参加しました。

児童・生徒たちが一生懸命練習したダンスや和太鼓では、息の合った動きを見せ、地域の皆さんも参加した綱引きやリレーでは熱戦が繰り広げられていました。



ダンボールでトイレづくり！

5月26日に実施した育児教室では、「子どもを守るための防災対策」をテーマに煤ヶ谷婦人会の方にご指導いただき、ダンボールで災害時用トイレを作りました。

参加者からは、「思ったより丈夫なものできた」「いざという時の備えとして一つの安心につながった」などの感想が聞かれました。

村では、親子同士の交流の場として、育児教室・のびのび子育てサロンなどを、感染症対策をとりながら定期的で開催していますので、ぜひご参加ください。



リレーエッセイ



清川村の皆さん、こんにちは。舟沢の滝吉さんからバトンを受けました、金翅の加藤です。

梅雨に入り、すっきりしない天气が続いております。

そんな中、消防団では2年に一度行われる小型ポンプ操法の大会に向けて選手を含め、団員が練習を週3回行っています。選手、団員が日々の仕事のあとで疲れているにもかかわらず、疲れた体に鞭を打ち、頑張っている次第です。それを見守って、支えてくれている家族には感謝しかありません。

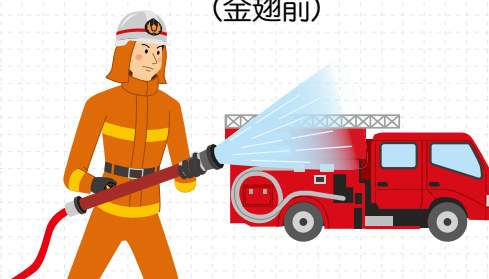
私が消防団に入ってから、10年になります。今は厚木消防の分署ができたので火事は後方支援が多くなりましたが、台風での出動は曜日関係なく長時間になることが多く、翌朝に及ぶこともあります。その活動を支えていただいている皆さんのご協力が大変ありがたく思っています。

清川で40年以上過ごし、近所の方々の交流も含め、家族と共に充実した日々を過ごしています。

次は寺鐘の城所憲裕さんにバトンタッチします。



かとう ごう
加藤 豪さん(写真中央)
(金翅前)



村の魅力を発信

6月5日、3年ぶりとなる清川産業まつりが催されました。

新茶をはじめ、新鮮な野菜、豚肉加工品、商工品などが即売され、多くの方が来場しました。

コロナ禍以来、飲食を伴うイベントは村内で初。食べ歩きはできませんでしたが、飲食エリアには食事を楽しむ皆さんの笑顔が溢れ、「久しぶりにイベントが開催されて嬉しい」「今後もさまざまなイベントが開催されてほしい」との声が聞かれました。

